

(第2号様式)

那工第 4508 号  
令和5年 3月20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇工業高等学校  
校長 宮城 哲夫  
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	7月19日(火)	本校・小会議室	3名出席(1名欠席)
第2回	12月15(木)	本校・小会議室	3名出席(1名欠席)
第3回	3月17日(金)	本校・小会議室	3名出席(1名欠席)

2 学校評議員に求めた事項

- ① 学校経営方針への助言
- ② 生徒の活動状況への助言
- ③ 生徒指導への助言
- ④ 進路指導への助言

3 学校評議員の意見

- ① 進路を決定する際、特に進学は奨学金の情報が必要となる。学校HP等を活用して広く保護者へ周知してほしい。
- ② 生徒のコミュニケーションスキルを高める取組をさらに充実してほしい
- ③ この3年間のコロナ禍の影響で、不登校気味の生徒も増えてきていると思われる。今後とも家庭と連携して対応をお願いします。
- ④ 弊社でもコロナ禍の時期に入社した社員の中で、コミュニケーションがうまく取れず辞めてしまう社員もいた。行事等を高校時代に多く経験させ、コミュニケーション能力を鍛える指導をお願いします。
- ⑤ 校則については、生徒の実態や時代に合わせた柔軟な対応を検討してほしい。
- ⑥ 工業高校の魅力である資格取得の推進のために、職員の働き方改革を見据えた講習会の実施方法を検討してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ① 資格取得の推進  
専門5学科において、資格取得を推進し各種の資格に多くの合格者を出した。特に今年度は、全国工業校長協会主催のジュニアマイスター顕彰において、近年にくらべ、多くの生徒の表彰があった。
- ② 生徒指導の充実  
校内での携帯電話の使用について、生徒、保護者の意見を検討し、昼休み時間の使用できるよう校則を改正した。
- ③ 進路指導の充実  
1、2年生への進路早期検定を見据えたキャリア教育の計画、実践できる体制が構築できた。

5. 課題

学校評議員の意見を踏まえた系統的・継続的な進路指導計画の策定・運営